

取扱説明書 初版

ラジコン式エンジン草刈機

HG-RCGC501

燃料 無鉛レギュラーガソリン

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してからお使いください。



WEBでチェック！

最新の取説及び
本製品の操作の仕方などを
ご覧いただけます。



目次

はじめに	3	作業の仕方	26
安全上のご注意	3	芝刈り・草刈り作業	26
製品を長くご愛顧いただくために	3	刈取りパターン	27
安全にお使いいただくために	4	傾斜面での芝・草刈り	27
ラジコン式エンジン草刈機に係る安全事項	4	起伏の多いところでの芝・草刈り	27
ラジコン式エンジン草刈機の作業に係る安全事項	5	刈込み中に減速、停止したら	28
充電器に係る安全事項	6	作業の終了	28
バッテリーに係る安全事項	6	運搬、輸送について	29
バッテリーのリサイクルについて	7	トラックへの積み込み・積み降ろし	29
安全ラベル	8	点検・整備の仕方	30
各部の名称	9	燃料の抜き方	30
コントローラーの基本説明	10	エンジンオイルの交換	30
主要諸元	11	エアクリーナーの清掃	31
梱包部品一覧	12	点火プラグの点検・整備	32
組立て	13	刃（バーナイフ）の交換	33
梱包箱から本体の取出し	13	クローラーの張り調整	34
運転前の点検	15	バッテリーについて	35
ブレーカーを上げる	15	長期間使用しない時	36
本体のバッテリーの充電	16	コントローラーのエラー表示の対処方法	37
コントローラーの充電	17	その他のエラー表示について	37
本機とコントローラーのペアリング	17	困ったときの対処法	38
燃料の給油	20	保証内容について	40
エンジンオイルの給油	20	お客様ご相談窓口	41
エアクリーナーの点検	21		
各部の緩みやガタツキの点検	21		
運転操作の仕方	22		
エンジンのかけ方（コントローラー）	22		
エンジンのかけ方（リコイルスターター）	23		
エンジンの止め方	23		
エンジンのアクセル調整	24		
刈高調整	24		
移動スピード調整	25		
LEDライトの「ON」/OFF	25		

はじめに

このたびはラジコン式エンジン草刈機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。また故障に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

ラジコン式エンジン草刈機に係る安全事項



警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 可動している部分の近くに手又は足を入れしないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部（シャフト・バーナイフ・ベルト・プーリー等）に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中は絶対排出口をのぞき込んだり足を出したりしないでください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- 本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 自動車で運搬する時は、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- 給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 始動前点検を実施してください。
- 急傾斜地では使用しないでください。
- 舗装地、砂利、その他硬い地面で使用しないでください。

安全にお使いいただくために

ラジコン式エンジン草刈機に係る安全事項



注意

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 燃料は無鉛レギュラーガソリンを使ってください。• 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。• 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。• 部品交換は、純正部品を使用してください。• 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。

ラジコン式エンジン草刈機の作業に係る安全事項





警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 本機は、公道での走行は絶対に行わないでください。道路上の走行による事故及び違反につきましては責任を負いかねます。• 身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。• 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。• ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物がはいるないようにしてください。• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。• 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。• 土や砂利道の上でバーナイフを回転させないでください。• 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。• 勾配 30° 以上での傾斜地作業やトラック積載用ブリッジ（ラダー）の勾配が 30° を超えると大変危険ですので、行わないでください。• 河川や崖に向かっての作業は行わないでください。転落の危険があります• 転倒しやすい場所では使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 雨天時に使用しないでください。• 適切な時期に休憩をとってください。• 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。• 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。• 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜きとってください。• 本機を搬送の際、積み込み、積み下ろしは二人以上で行ってください。• 本機をトラックなどに積み降ろしする際は、ラダーを使用してください。• 移動する時は、エンジンを止めてください。• 事前に、作業範囲内の石、木片などの異物を取り除いてください。• 作業前に集草袋に穴や擦り切れがないか点検してください。• 作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、バーナイフに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。• バーナイフの脱落は大変危険です。ボルト、ナットはしっかり締めてください。また、破損したバーナイフは新品に交換してください。



安全にお使いいただくために

⚠ 注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。・エンジンがかかっている状態で本製品から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。・長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。・定期点検整備を行ってください。・本機を長時間保管するときは、取扱説明書にしたがって保管してください。



充電器に係る安全事項

⚠ 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・濡れた手で充電器の電源プラグの抜き差しはしないでください。・交流 100V 以外は使用しないでください。・電源コード・電源プラグが傷んでいたり、コンセントの挿込みが緩い時は使用しないでください。・充電器を分解しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電器の電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿入してください。・充電器の電源プラグのホコリは定期的に取り除いてください。・充電器が異常に熱くなったり、異音、異臭がしたら直ちに使用を中止してください。発煙、火災、感電の恐れがあります。

バッテリーに係る安全事項

⚠ 警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。・必ず専用充電器で充電してください。・バッテリーを分解・改造をしないでください。・バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。・周囲温度が 0℃未満、あるいは周囲温度が 45℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。・バッテリーを焼却したりしないでください。火災、爆発、または火傷の危険があります。・乱暴に扱うと、バッテリーから液体が漏れる可能性があります。バッテリーには酸が含まれています。酸が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに水で 10 分間洗い流してください。液体が目に入った場合は、直ちに医師の診察を受けてください。・バッテリーは一般家庭ゴミとして捨てないでください。ゴミ収集車内などで破壊されて短絡し、発火、発煙し事故の原因になる恐れがあります。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・充電器の電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿入してください。・充電器の電源プラグのホコリは定期的に取り除いてください。・充電器が異常に熱くなったり、異音、異臭がしたら直ちに使用を中止してください。発煙、火災、感電の恐れがあります。

安全にお使いいただくために

バッテリーのリサイクルについて

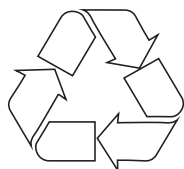


注意



指示

・ご使用済みのバッテリーパックは、分解せずにそのまま最寄りのリサイクル協力店又は、各自治体にご確認ください。



Pb

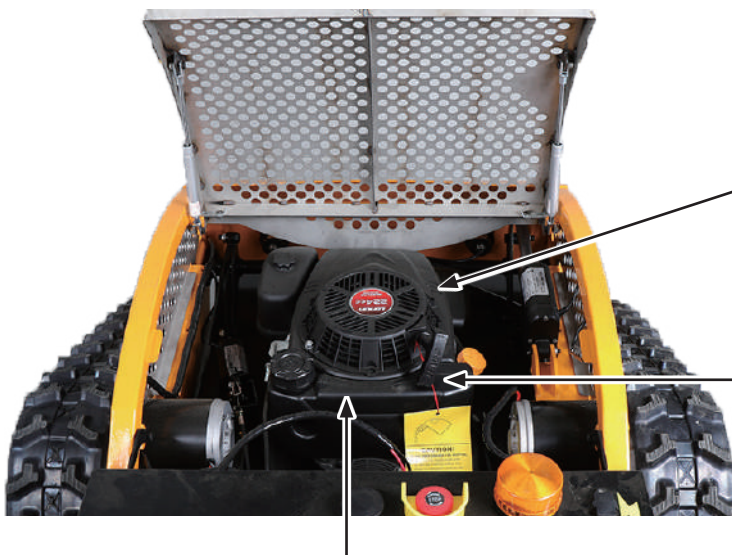
安全ラベル ※安全ラベル添付位置は、実際と異なる場合があります。



警告
下記の注意事項をよくお読みください。指示を守らないと、事故や感電、火災の原因となることがあります。下記は抜粋のため取扱説明書の注意事項を必ずご確認ください。

- ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。
- 目と耳の保護具を着用してください。
- 充電ポートに金属物を置かないでください。
- 子どもの手の届かない所に保管をしてください。
- 雨天時に使用しないでください。感電・故障の原因になります。
- 炎天下に放置しないでください。
- 使用時はコントローラーの高温にご注意ください。
- 使用後は電源を切り、定期的な充電をしてください。

1. 使用するときは、十分な光があり、本機が目視範囲内にあることを確認してください。夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。視界から外れた場合は、重大な事故になる可能性があります。
2. 引火性、爆発性の物品が保管されている環境では使用しないでください。本機から発生するガスが物品を発火させる可能性があります。大変危険です。
3. 身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。
4. バッテリーの充電には専用の充電器を使用してください。
5. 湿気の多い環境で本機を保管したり使用したりしないでください。機械内に水が入ると、感電や本機の損傷の危険が高まります。
6. 充電器や本機のケーブルを熱、油、鋭利なものから遠ざけてください。ケーブルが損傷したり絡まったりすると、感電の危険が高まります。
7. 使用するときは、長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。
8. 本機の充電ポートは隔離しておいてください。充電ポートに金属物を近づけないでください。ショートによる重大な事故の危険があります。



警告

- ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物。
- 給油の前には、エンジンを切って冷やす。
- エンジンには有毒な一酸化炭素を排出する。
- 密閉された場所では使用しない。
- 燃料の臭いがある場合、運転不可。爆発の危険がある。
- 燃料の漏れが見受けられたら、使用しない。
- エンジンが熱いうちは、給油しない。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけない。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させない。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行う。引火の恐れがある。
- 給油時、燃料タンクの給油口ギリギリまで給油しない。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがある。
- 取扱説明書は必ず読む。

注意

- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しない。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取る。
- 燃料タンク内に雪や水が入らないようご注意ください。
- 30日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管する。

各部の名称 ※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

前面

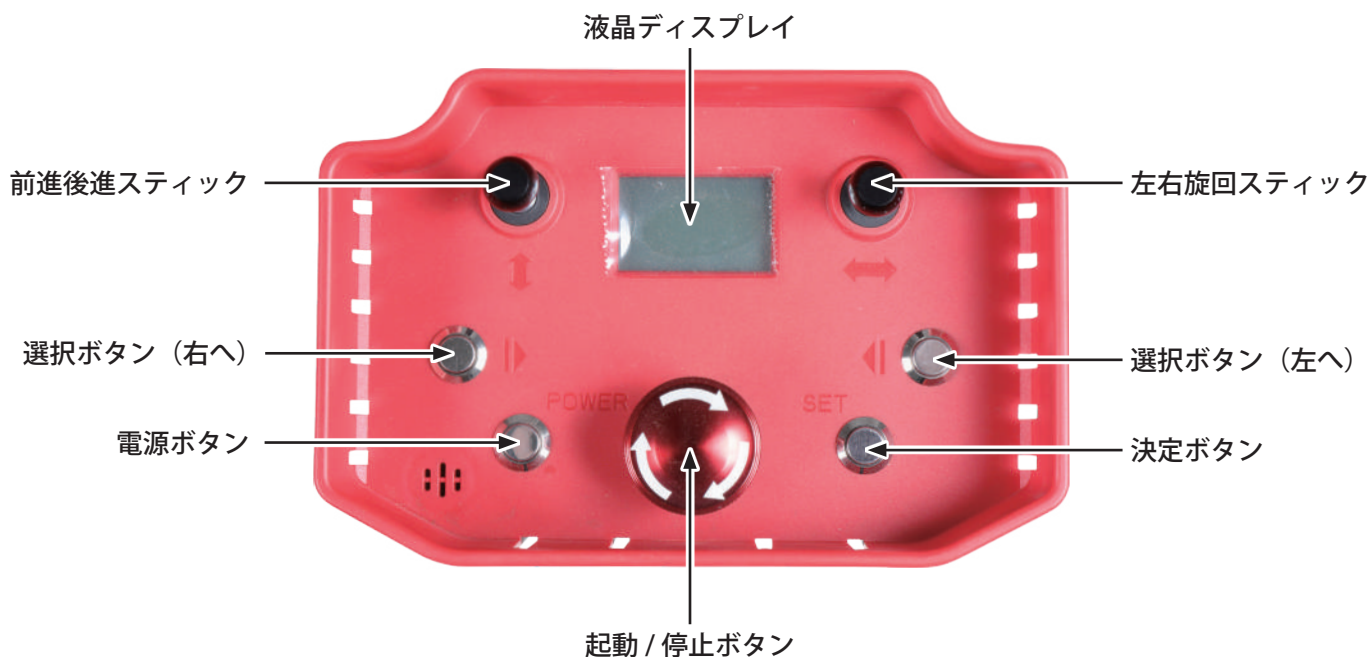


後面

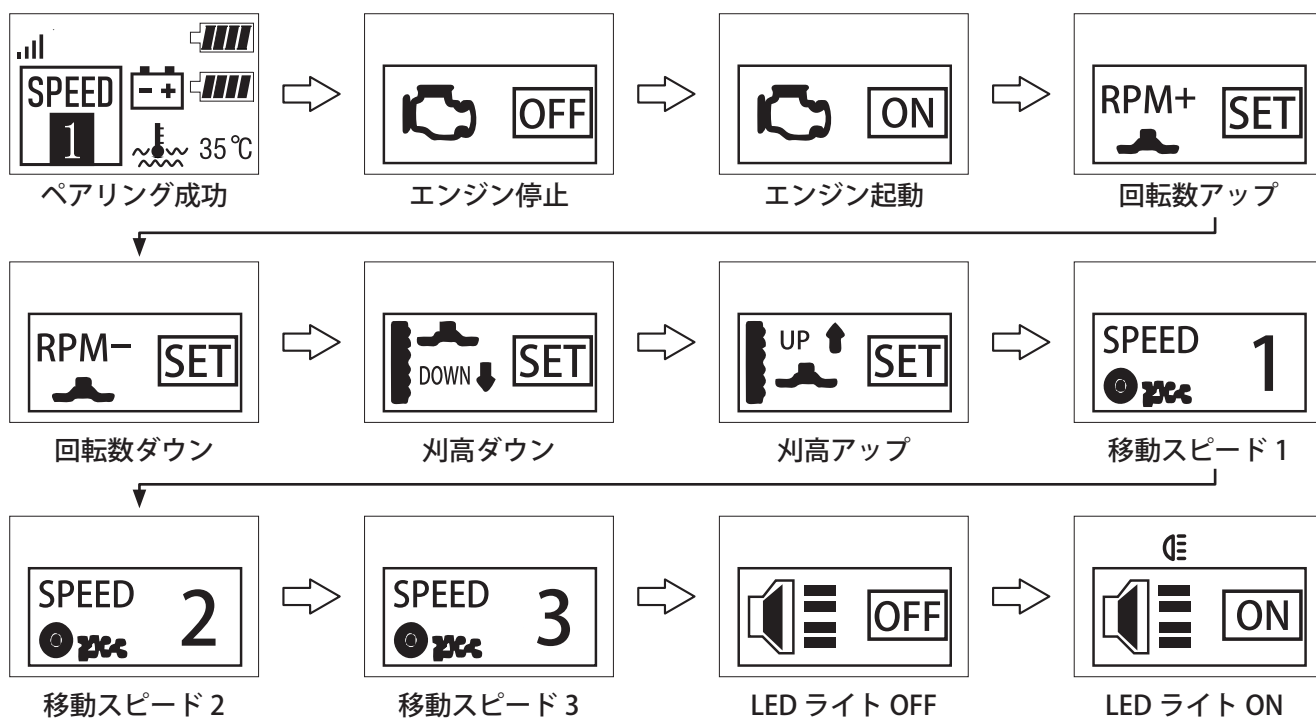
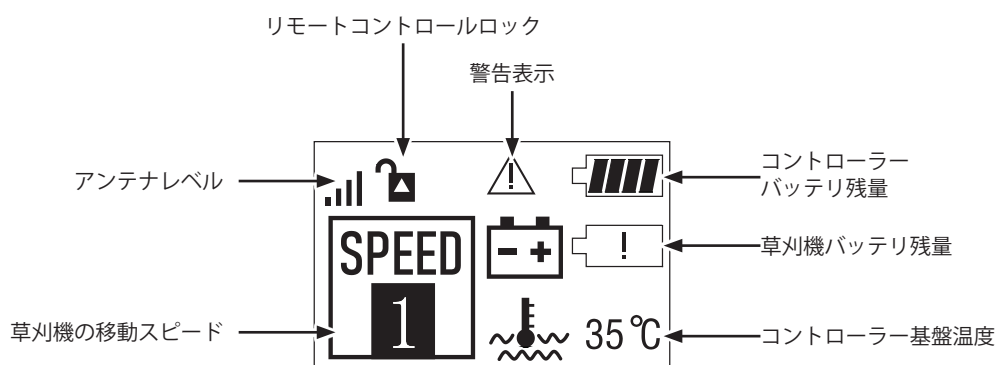


コントローラーの基本説明

●コントローラー本体



●液晶ディスプレイ



主要諸元

モデル名	HG-HRCGC501
エンジン形式	ロンシンエンジン
エンジン馬力	7.5HP
総排気量	224cm ³
駆動	モーター駆動
始動方式	リコイルスターター / セルスターター
刈高	30 ~ 120mm
刈幅	530mm
刈面積	1時間当たり約 180坪 (約 600m ²)
排出方法	前後排出
最大傾斜角度	30°
走行調整	3段前進、3段バック
走行スピード	2.82km/h
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	1.4L
連続稼働時間	約 50分 (燃料満タンの状態で草刈りした場合) ※使用状況により異なります。
エンジンオイル	SAE10W-30/SAE10W-40
エンジンオイル容量	0.5L
バッテリー	鉛酸バッテリー 20Ah 24V (12V × 2 直列接続)
充電電圧	最大 29V
騒音	95dB
リモコン最大通信距離	200m
重量	126kg
サイズ (幅×奥行×高さ)	830 × 900 × 550mm

◎ハイガーは、顧客満足度 100%を目指し、日々製品 (部品やカラーも含め) の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

梱包部品一覧

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体



B. コントローラー・充電ケーブル (USB Type-C)



C. バッテリーチャージャー・電源コード



※製造時期により部品の形状が変更になる場合や本体に取付済みの場合があります。

組立て

⚠ 注意

- 説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- 重量物の運搬は、2人以上で行ってください。
- 組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- 平坦で固い地面の上で組立て作業を行ってください。

梱包箱から本体の取出し

●コントローラー操作で取出し

■必要な工具：マイナスドライバー、ハンマー等

- 1** 工具等で梱包箱の上面の板を取外し、本体以外の同梱されているものを取出します。



- 2** 本体後側の梱包箱背面の板を取外します。

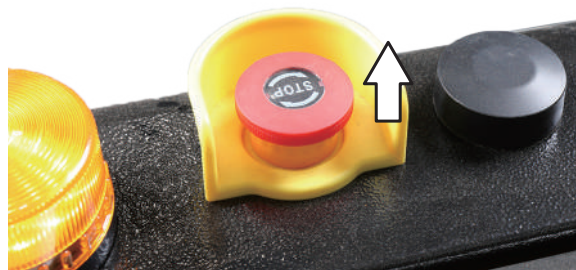
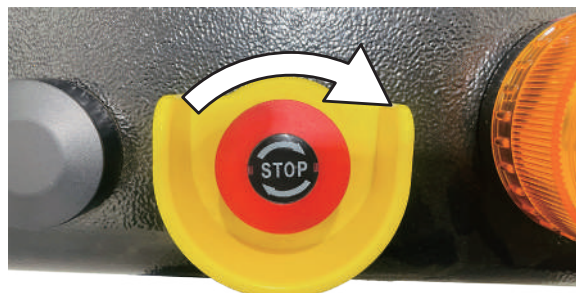


- 3** 本体の内蔵バッテリーの充電をします。P.16の「本体のバッテリーの充電」参照。

- 4** コントローラーの充電をします。P.17の「コントローラーの充電」参照。

- 5** ブレーカーを上げます。P.15の「ブレーカーを上げる」参照。

- 6** 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。ボタンを時計回りに回すとボタンが上がり、「ON」状態になります。

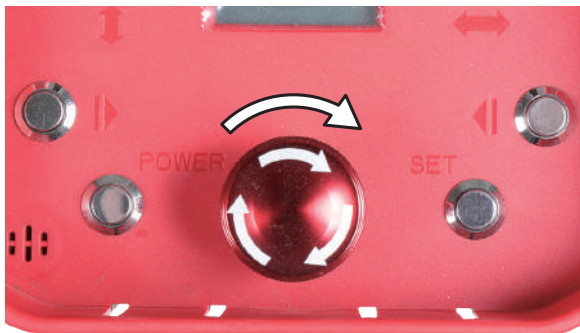


起動ランプが点滅します。

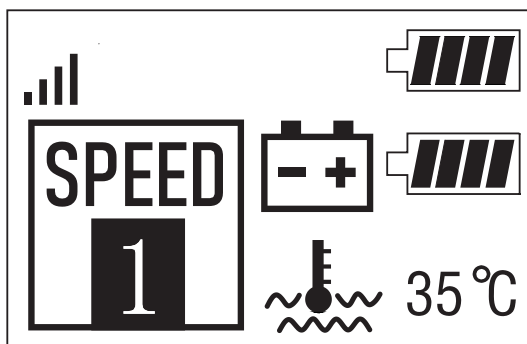


組立て

- 7** コントローラーの起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
ボタンを時計回りに回すとボタンが上がり、「ON」状態になります。



- 8** コントローラーの電源ボタン(☉^{POWER})を押します。
起動画面が表示されます。

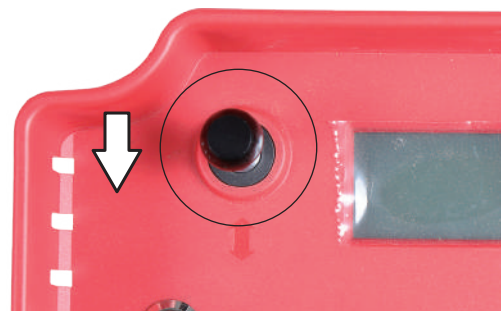


本体との接続が確立すると起動ランプが点灯に変わります。



起動ランプが点灯に変わらない場合は、本体とコントローラーのペアリングができていない可能性があります。P.17の「本機とコントローラーのペアリング」を参照してください。

- 9** 前後進スティックをゆっくり後ろに引きます。本体がバックします。



⚠ 注意

- 本体をゆっくりと後進して梱包箱から出してください。勢いよく出すと本体が損傷する可能性があります。
- 後進する本体の後ろに立たないでください。怪我をする可能性があります。

●手作業で取出し

- 必要な工具：マイナスドライバー、ハンマー等

- 1** 工具等で梱包箱の上面の板を取外し、本体以外の同梱されているものを取出します。



- 2** 梱包箱の底以外の板を取外して、2人以上で持ち上げて、梱包箱から本体を取出します。

運転前の点検

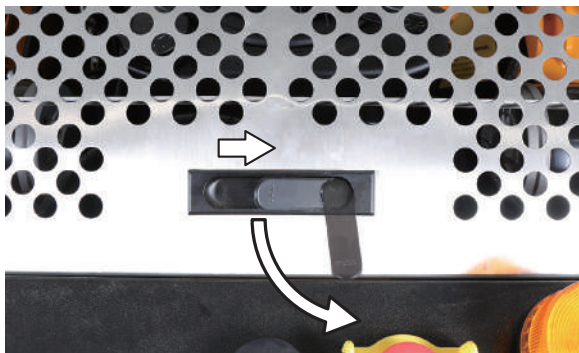
ブレーカーを上げる

初回購入時はブレーカーが落ちているので、上げる必要があります。

■必要な工具：六角レンチ（4mm）、手袋等

1 トップパネルを開けるためにパネルにある留め具を手前に上げてから反時計回りに回します。

トップパネルはバッテリーカバーを開けやすくするために開けます。必要ない場合は手順3に進みます。



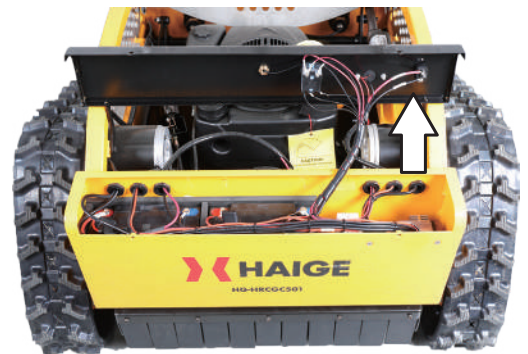
2 トップパネルを上に向けて、開きます。



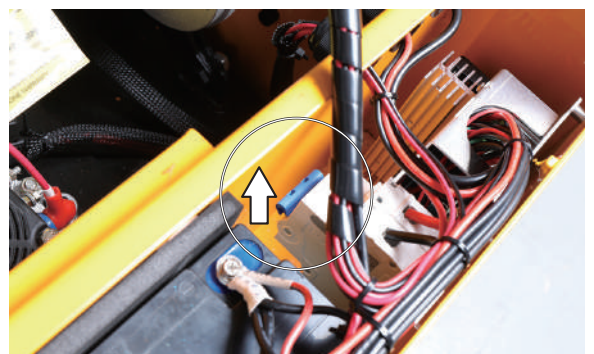
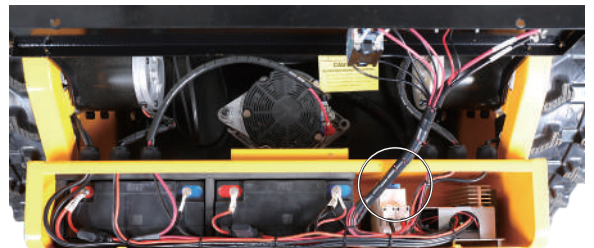
3 トップパネルの手前のカバーを開けるために、2カ所の六角ボルトを4mmの六角レンチで取外します。



4 手前のバッテリーカバーを上を開けます。



5 正面右側のブレーカーを上上げます。



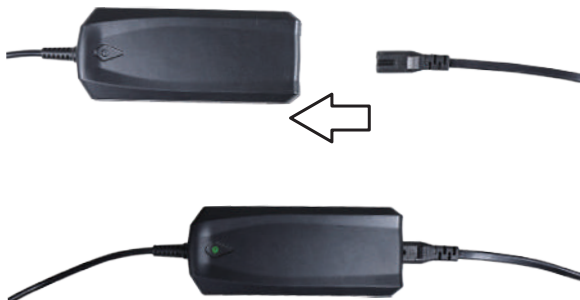
6 開けたトップカバーとバッテリーカバーを閉じます。

運転前の点検

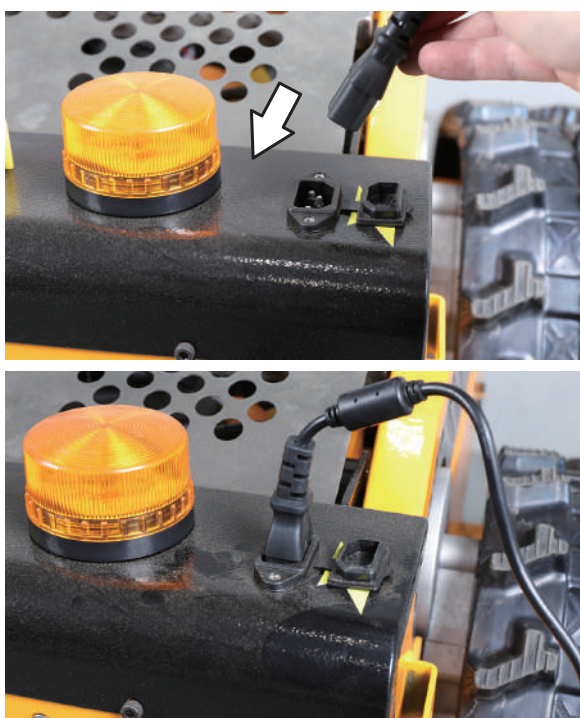
本体のバッテリーの充電

バッテリーは、最初に使用する前に満充電にする必要があります。

- 1 付属のバッテリーチャージャーと電源コードを接続します。



- 2 充電ポートにバッテリーチャージャーのプラグを挿入します。



- 3 コンセントに接続します。



- 4 バッテリーチャージャーのランプが赤色点灯し、充電が開始されます。



- 5 充電が完了すると緑色点灯に変わります。



- 6 コンセントから電源プラグを取外します。

- 7 バッテリーチャージャーのプラグを充電ポートから取外します。

⚠ 注意

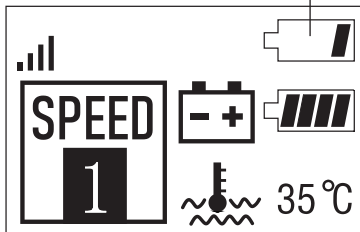
- 長期間使用しない場合でも、バッテリーの寿命を延ばすため、3 ヶ月に 1 回は充電をしてください。
- 新しいバッテリーや長期間使用しなかったバッテリーは、最大容量にするために、5 回程度充放電を繰り返してください。

運転前の点検

コントローラーの充電

コントローラーのバッテリー残量が少ない場合は充電をしてください。※充電アダプターは、携帯電話等の充電で使用する USB 電源アダプターをご用意ください。

コントローラーのバッテリー残量



- 1 コントローラーの端子に付属の充電ケーブルを挿します。



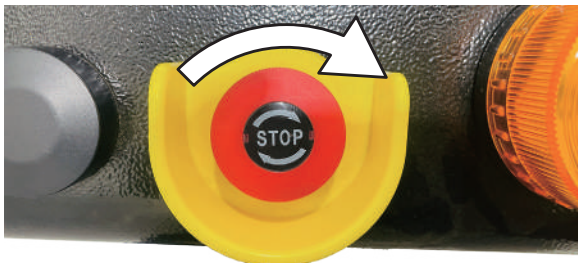
- 2 ご用意した充電アダプターと充電ケーブルをつけてから、コンセントに接続します。

本機とコントローラーのペアリング

本機とコントローラーを通信接続（ペアリング）しないとコントローラーから操作できません。ご購入時は本機とコントローラーはペアリング済みですので、この作業は不要です。

■必要な工具:六角レンチ (4mm)、プラスドライバー

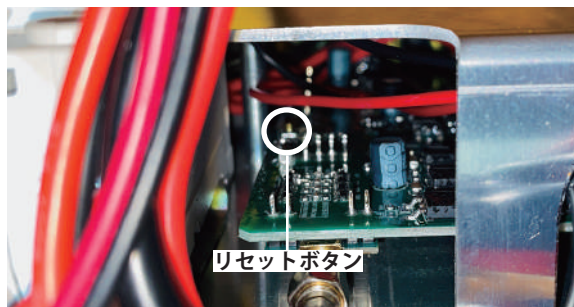
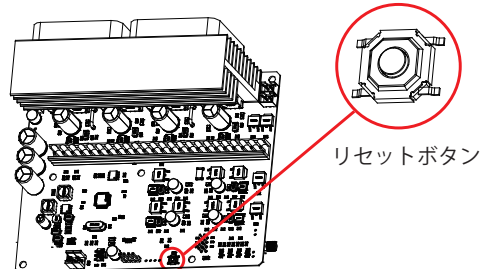
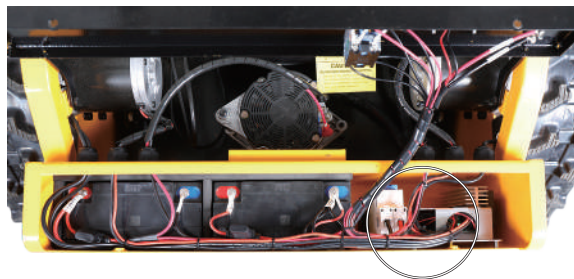
- 1 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
ボタンを時計回りに回すとボタンが上がり、「ON」状態になります。起動ランプが点滅します。



- 2 P.15 の「ブレーカーを上げる」を参照して、手前のバッテリーカバーを上を開けます。



- 3 正面右側の基盤の中にあるリセットボタンを5秒間長押しします。本体側の設定がリセットされます。



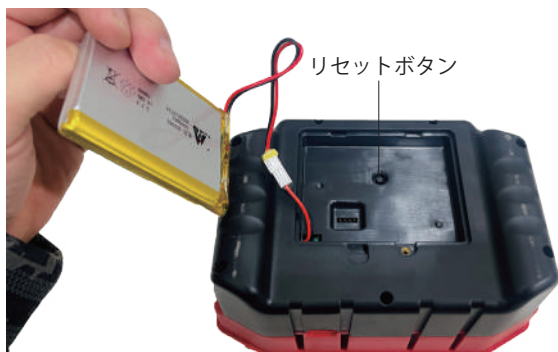
- 4 コントローラーの電源ボタン (POWER) を押します。起動画面が表示されます。

運転前の点検

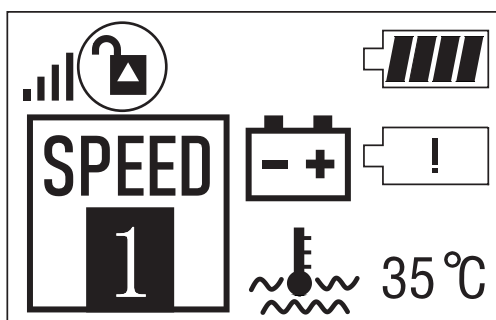
- 5** コントローラー側のリセットをします。プラスドライバーでコントローラー裏のバッテリーカバーを留めているボルトを取外します。



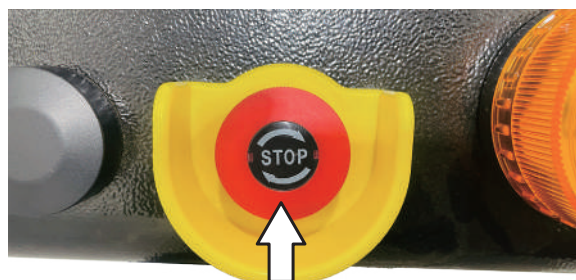
- 6** バッテリーカバーを開けて、中のバッテリーを持ち上げるとリセットボタンがあるので、ドライバー等で5秒間長押しします。



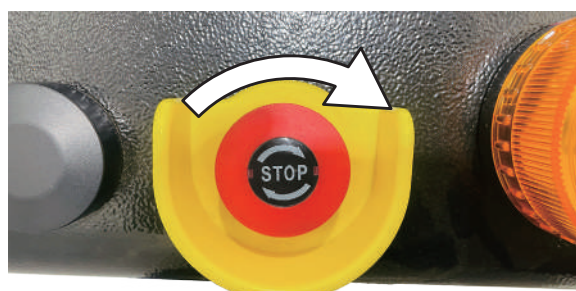
- 7** コントローラーの画面にアイコンが表示されたらコントローラーの電源ボタン(☉^{POWER})を押して、電源を切ります。バッテリーカバーを閉じます。



- 8** 本機の起動 / 停止ボタンを押します。



- 9** もう一度、本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。



- 10** 起動ランプが点滅したら、もう一度コントローラーの電源ボタン(☉^{POWER})を押します。



運転前の点検

ペアリングが成功すると、起動ランプが点灯に変わります。



- 11** バッテリーカバーを閉じて、ペアリング作業は終了です。

運転前の点検

警告



- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



- ・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



- ・燃料給油キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

- 1 燃料を準備します。

使用燃料	自動車用無鉛レギュラーガソリン
タンク容量	1.4L

注意

古い燃料は使用しないでください。

- 2 燃料給油キャップを開け、上限を超えないように少しずつこぼさないように給油します。



- 3 給油が終わったら燃料給油キャップをしっかり閉めます。

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。

必ず給油してください。

- 1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30/SAE10W-40
オイル容量	0.5L

- 2 本体を水平な場所に移動させます。
- 3 オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



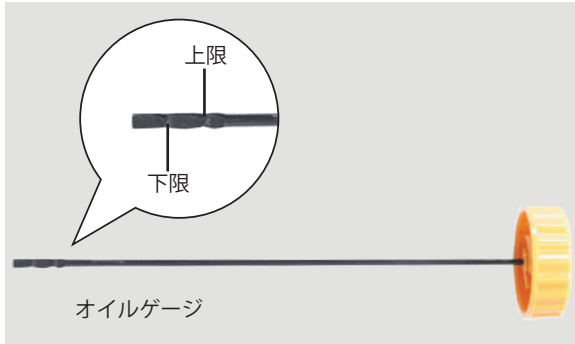
注意

エンジンオイルを入れ過ぎると、エンジンはかかりにくくなります。

運転前の点検

4 オイル給油キャップを一旦締付け、再度外します。

5 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



6 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

7 使用 2 回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

エアクリナーの点検

エアクリナーのフィルタの汚れを確認します。汚れたままだとエンジンがかかりません。(点検方法は P.31 参照)



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。
ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。
不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

運転操作の仕方

警告



禁止

- 燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。



指示

- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。

注意

エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方(コントローラー)

コントローラーとのペアリング (P.17 参照) を済ませてからエンジンをかけてください。

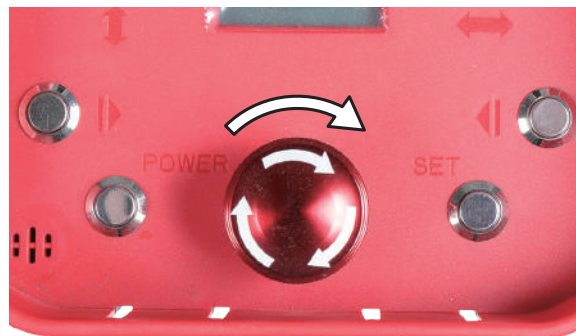
- 1 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
ボタンを時計回りに回すとボタンが上がり、「ON」状態になります。



起動ランプが点滅します。

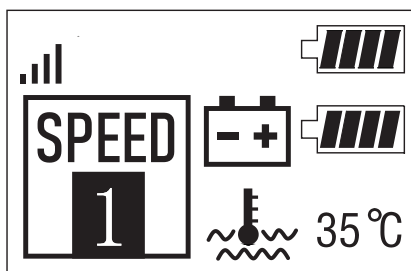


- 2 コントローラーの起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
ボタンを時計回りに回すとボタンが上がり、「ON」状態になります。



運転操作の仕方

- 3** コントローラー電源ボタン(POWER)を押します。
起動画面が表示されます。



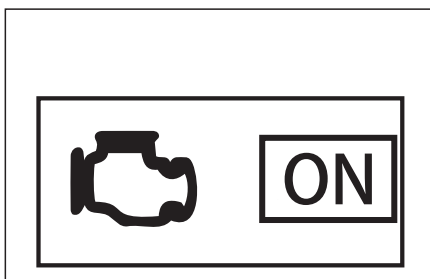
本体との接続が確立すると起動ランプが点灯に変わります。



- 4** エンジンの回転数を上げます。(P.24の「エンジンのアクセル調整」参照)
回転数を上げないとエンジンがかかりません。
- 5** 選択ボタン(右へ) (SELECT)を1回押します。
エンジン停止画面が表示されます。



- 6** 決定ボタン(SET)を長押しします。セルが起動する音がしますので、エンジンが始動したらすぐに決定ボタンを押している指を放します。
6秒以内でエンジンがかからない時は、少し時間をおいてから再始動してください。



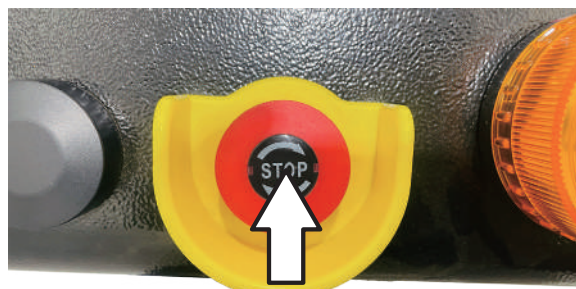
エンジンのかけ方(リコイルスターター)

- 1** トップカバーを開けて、エンジンにあるリコイルスターターロープを引きます。
※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ 50 ~ 55cm 引きます。引きが少ないとエンジンはかかりません。

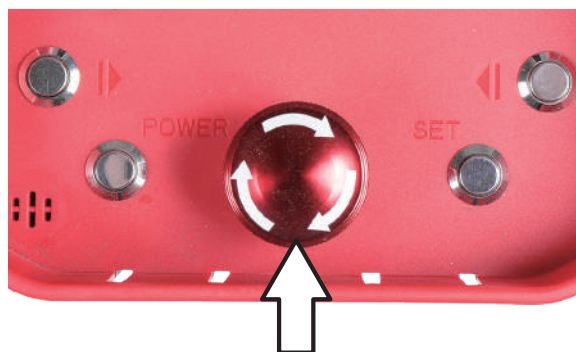


エンジンの止め方

- 1** 起動/停止ボタンを押すとエンジンが停止します。



- 2** コントローラーの起動/停止ボタンを押しても停止します。

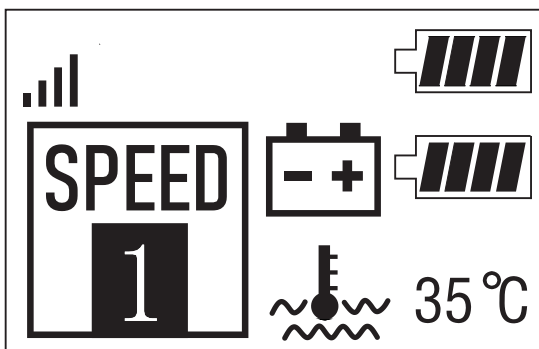


運転操作の仕方

エンジンのアクセル調整

エンジンの回転数を上げて、パワーを調整できます。

- 1 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
- 2 コントローラーの起動画面の状態から選択ボタン(右へ) (⊙▶)を2回押します。



エンジンの回転数アップ画面が表示されます。



- 3 決定ボタン(SET ⊙)を押します。押すごとに回転数が上がります。
- 4 エンジンの回転数を下げる場合は、選択ボタン(右へ) (⊙▶)をもう1回押します。

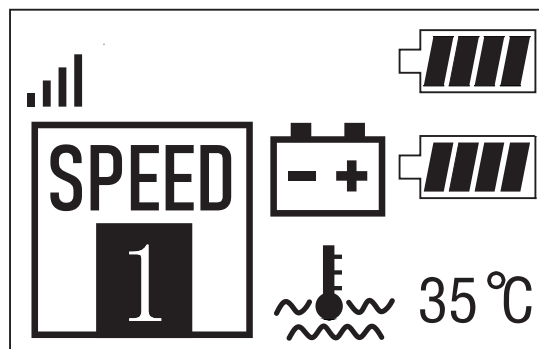


- 5 決定ボタン(SET ⊙)を押します。押すごとに回転数が下がります。

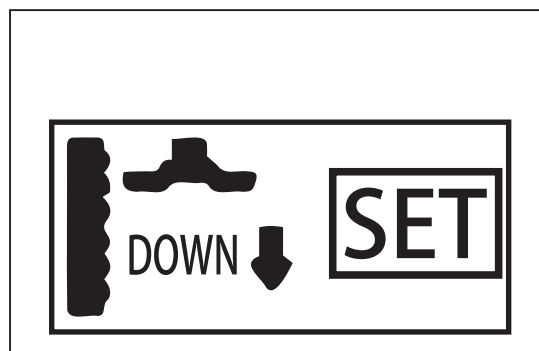
刈高調整

本体の刈高を調整できます。

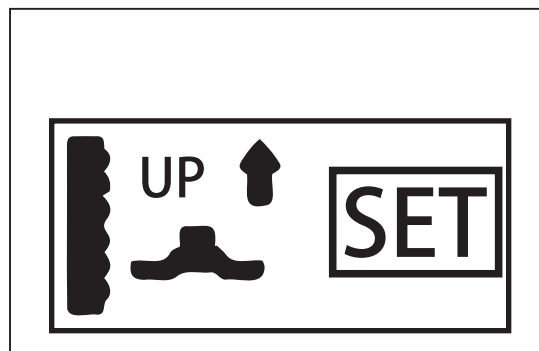
- 1 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
- 2 コントローラーの起動画面の状態から選択ボタン(右へ) (⊙▶)を4回押します。



刈高を下げる画面が表示されます。



- 3 決定ボタン(SET ⊙)を押します。押すごとに刈高が下がります。
- 4 刈高を上げる場合は、選択ボタン(右へ) (⊙▶)をもう1回押します。




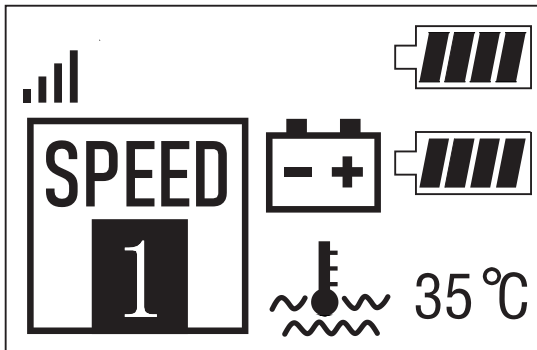
- 5 決定ボタン(SET ⊙)を押します。押すごとに刈高が上がります。

運転操作の仕方

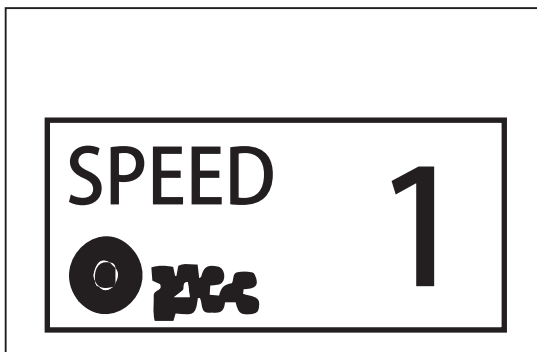
移動スピード調整


本体の移動スピードを調整できます。

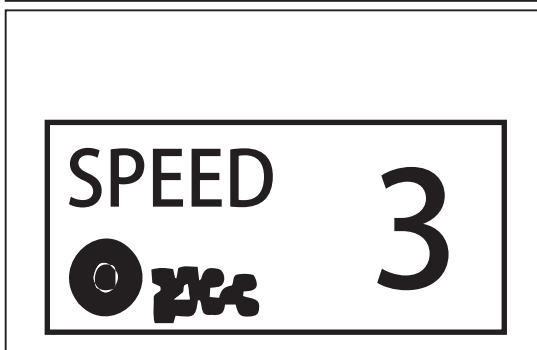
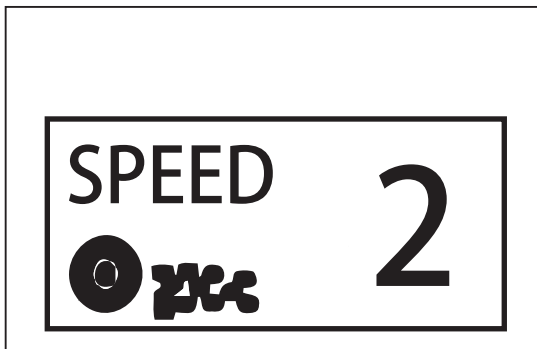
- 1 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
- 2 コントローラーの起動画面の状態から選択ボタン（右へ）（)を6回押します。



スピード画面が表示されます。




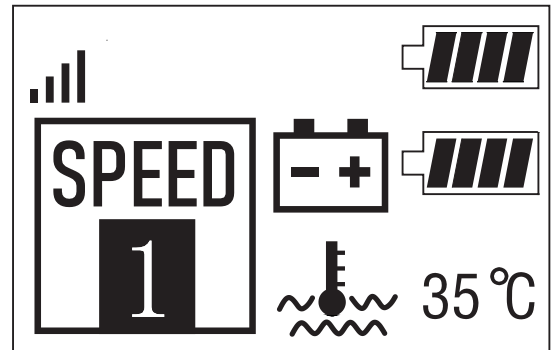
- 3 決定ボタン（）を押します。押すごとにスピードが3段階で変更できます。



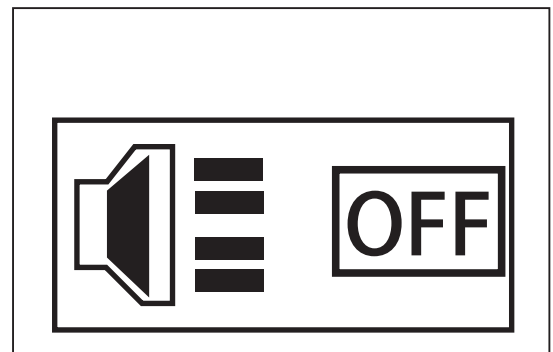
LED ライトの「ON」 /OFF


本体前方のLEDライトの「ON」/OFFができます。

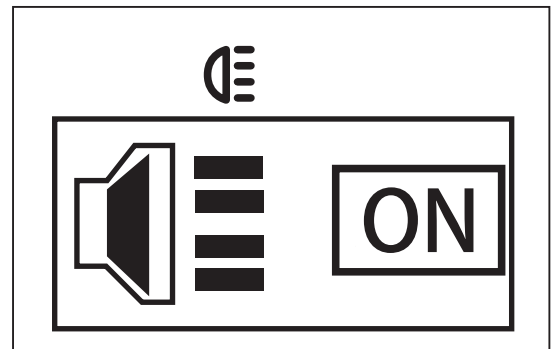
- 1 本機の起動 / 停止ボタンを「ON」にします。
- 2 コントローラーの起動画面の状態から選択ボタン（右へ）（)を7回押します。



LED ライト OFF 画面が表示されます。



- 3 決定ボタン（）を押します。押すごとにLEDの「ON」/OFFが切り替わります。



作業の仕方

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 髪の毛、衣服等を回転部分に近づけないでください。



指示

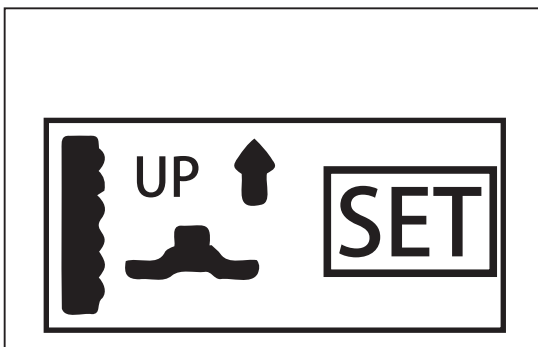
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止して運搬してください。
- 使用するときは、長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。
- 長い髪は束ねて帽子などでカバーしてください。

芝刈り・草刈り作業

注意

- 本機を刈られていない背の高い草に無理に押し込まないでください。破損の原因になります。
- 石、針金や紐類は取除いてください。
- 石やレンガの壁、縁石、樹木に本機を当てると、破損する恐れがあります。
- エンジン音が途中で変わったら芝や草が詰まっている可能性があります。一旦エンジンを切り確認をしてください。
- 作業中、急に本体下の方から「キュルキュル」という音や白煙が出たらすぐにエンジンを停止してください。芝や草が詰まり、ベルトに負荷がかかっていますので、速やかに詰まりを取除いてください。

- 1 刈高調整の設定で本体の刈高を一番高くします。
P.24 の「刈高調整」を参照。



- 2 今いる場所から刈り場所まで 200m 以上離れている場合はエンジンをかけてから、コントローラー操作をして、本体を移動します。

- エンジンのかけ方については、P.22 の「エンジンのかけ方(コントローラー)」または P.23 の「エンジンのかけ方(リコイルスターター)」参照。
- エンジンをかけるとブレードが回転します。

注意

- バッテリーのみの操作で本体を 200m 以上操作すると低電圧エラーで操作停止する場合があります。200m 以上操作する場合はエンジンをかけてから本体を移動操作してください。
- 200m 以上移動する場合は、トラックなどで運ぶ事をおすすめします。

作業の仕方

3 芝刈り・草刈り作業を行います。

上手な芝刈りの仕方

■徐々に刈高を下げる

日をおいて徐々に刈高を低くすることで、芝生を傷めずにきれいに刈れます。また、芝刈機にも負荷をかけません。その際、毎回刈る方向を変えて重ね刈りすることできれいになります。

■刈るスピードはゆっくり

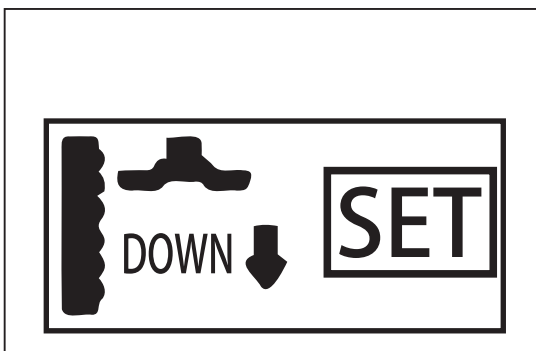
速すぎるときれいに刈れません。また、詰まりやすくなります。

目安として、ゆっくり進むときれいに刈れます。

■濡れた芝生・草は刈らない

濡れた芝生・草は刈れません。乾いてから芝生・草を刈ってください。濡れた芝生・草を刈ると刈刃ハウジング内側に張り付き、詰まります。

4 刈高が高すぎて、草が刈れてない場合は、刈高調整をして刈高を下げてください。P.24の「刈高調整」を参照。

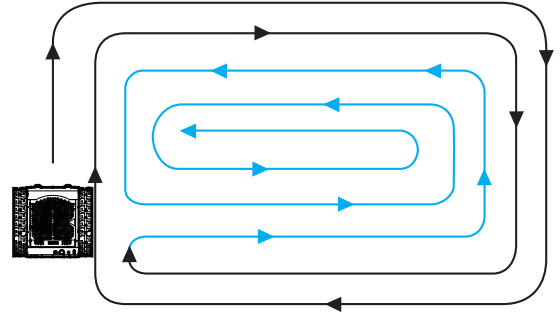


5 パワーが足りない場合は、エンジンの回転数を上げます。P.24の「エンジンのアクセル調整」参照。



刈取りパターン

広い場所での芝刈り・草刈りは、右回りに1～2周した後、中心に向かって左回りに刈り作業を行います。



傾斜面での芝・草刈り

警告

- 30°を超える傾斜の坂の上で、芝・草を刈らないでください。また、30°以下でも起伏の多いところ、不安定なところでは使用しないでください。転倒の危険があります。
- 落下する可能性のある穴、わだち、岩、他の隠れた物体を確認します。岩や木の幹など、すべての障害物を取除くか避けてください。
- 傾斜面では、止まったり、スピードを変えたりしないでください。転倒の危険があります。

起伏の多いところでの芝・草刈り

起伏の多いところでの芝・草刈り作業は、操作に十分注意して作業を行ってください。

警告

転倒や落下に十分ご注意ください。

作業の仕方

刈込み中に減速、停止したら

刈込み速度が速すぎて刈込みが追いつかない、異物や蔓の絡まり、集草袋の満杯が考えられます。

- 1 刈込み速度が速すぎると、処理が追いつかずに詰まりやすくなります。減速を感じたら、一旦バックし、回転が安定したらまた前進をすると解消する場合があります。
- 2 異物や蔓が絡まっていたら、エンジンを切り、異物や蔓を取除きます。

作業の終了

- 1 エンジンを停止します。
- 2 刈高調整の設定で本体の刈高を一番高くします。P.24の「刈高調整」を参照。
- 3 詰まった芝・草はそのまま放置しないで必ず毎回取除いてください。次回運転時にベルト負荷がかかり破損したり、摩擦で発火し火災の原因になります。

警告

- 本体に堆積した草等はきれいに取除いてください。火災の原因になります。
- エンジンの空気吸入口に草などが堆積するとオーバーヒートや熱による車体の異常が発生する可能性があります。作業後には必ずエンジンの空気吸入口を点検し、草などが堆積している場合は取除いてください。



注意

- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やコントローラーの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。

- 4 お手入れ後、回転部・可動部等に機械用グリスや潤滑剤を塗布します。

作業の仕方

運搬、輸送について

移動をする際は、必ず刈高調整の設定で本体の刈高を一番高くしてください。P.24の「刈高調整」を参照。

警告

- 運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- 運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンク、キャブレターからガソリンを抜き取ってください。(P.30 参照)
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。
- 本機を吊っての積み込み、積み降ろしは、フレームの変形や破損の原因、転落等で大変危険です。絶対に行わないでください。トラック等への積み込み・積み降ろしは、ラダーをご使用ください。
- 運搬は2人以上で行ってください。

注意

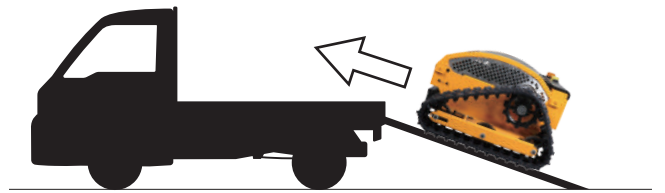
- 運搬中に本体が動かないように、ロープなどでしっかり固定してください。
- 本体を水平になるように保持してください。

トラックへの積み込み・積み降ろし

本機の積み込み・積み降ろしは、平坦な場所で行ってください。

また、バッテリー残量が十分あることを確認してください。

- 1 トラック積載用ブリッジ(ラダー)は本機の重量に耐えられる物を使用してください。
- 2 安全のため、ラダーの傾斜角度が30度以下になるようにします。

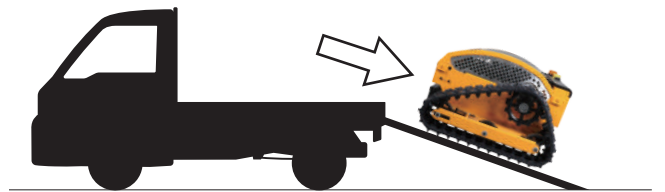


- 3 刈高調整の設定で本体の刈高を一番高くします。P.24の「刈高調整」を参照。
- 4 本機をゆっくり前進させ、ラダーから荷台に乗せます。
- 5 本機が荷台に乗ったら、電源スイッチ切ります。

警告

ラダーから踏み外したり、つまずいたりした場合、本機が作業者に覆いかぶさってくることがあり、大変危険です。十分ご注意ください。

- 6 積み降ろしの場合は、本機を後進させ、荷台からラダーに移動しゆっくり降ろして行きます。



点検・整備の仕方

警告

- ・作業場の清潔、安全を常に確保してください。足を引っかける一切の障害物を撤去してください。
- ・作業場には必ず清潔、安全を守ってください。ガラスや木材、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管してください。
- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・本体は水平な場所に設置し、作業を行ってください。
- ・作業は、十分な採光のもとで作業してください。
- ・排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヶ月後又は20時間運転後	3ヶ月毎又は50時間運転毎	6ヶ月毎又は100時間運転毎	1年毎又は300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.20 参照
エンジンオイル	オイル量	●					P.20 参照
	交換		●	●			P.30 参照
エアクリナー	清掃			●			P.31 参照
	交換					●	P.31 参照
点火プラグ	清掃				●		P.32 参照
	交換					●	P.32 参照
刃・刃締付ナット	欠け、摩耗、破損、緩み	●					P.33 参照

警告

- ・燃料タンクキャップはしっかり閉めてください。ガソリンが漏れると引火の危険があります。
- ・こぼれたガソリンは布などで、直ちに拭取ってください。

燃料の抜き方

長期間使用しない場合は、必ず燃料を抜いてください。燃料は劣化します。

- 1 燃料を入れる容器を準備します。
- 2 燃料タンクのキャップを取外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。
- 3 燃料を抜き終わったら、キャップをしっかり閉めてください。

エンジンオイルの交換

【エンジンオイルの交換】

エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

- 1 本機を水平な場所で水平な状態にします。

- 2 オイル給油キャップを外します。



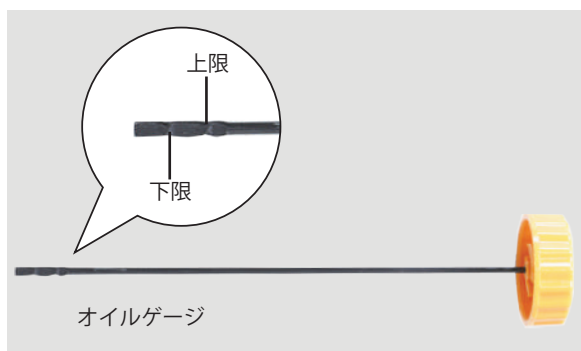
- 3 オイルチェンジャー等でオイルを抜きます。

点検・整備の仕方

4 市販のオイルジョッキを用意します。



5 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



6 給油後は、確実にオイル給油キャップを閉めます。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30/SAE10W-40
オイル容量	0.5L

エアクリーナーの清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃をします。汚れが取れない場合は交換をします。

1 エアクリーナーのノブを反時計回りに回しカバーを開け、エアフィルタを引き抜きます。



2 スポンジを外し、エアフィルタの汚れをブロワー等で吹き飛ばします。



3 取外しと逆の手順で取付けます。

点検・整備の仕方

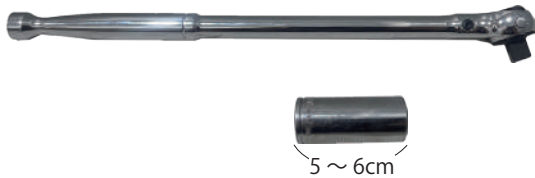
点火プラグの点検・整備

点火プラグを取外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

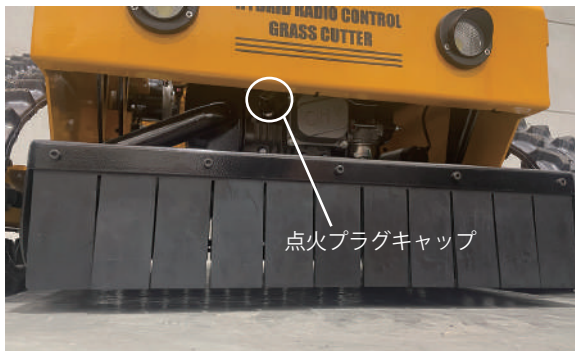
交換時期	1年毎又は300時間運転毎
適応点火プラグ	BPR7ES(NGK)

- 使用工具：ソケットレンチ
ソケット（口径21mm/長さ5～6cm）
ワイヤブラシ

- 1** ソケットレンチを用意します。ソケットは口径21mmのサイズで5～6cm位の長さのものを用意してください。



- 2** 本体前方にある点火プラグキャップが見える高さまで刈高を調整します。P.24の「刈高調整」を参照。



- 3** 点火プラグキャップを手前に引き抜きます。※コードを持って引き抜かないでください。



- 4** 点火プラグをプラグレンチで取外します。（反時計回り）



- 5** 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



- 6** 取外しと逆の手順で取付けます。

※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとはめてください。はめ込みがあまいと点火しません。

点検・整備の仕方

刃(バーナイフ)の交換

バーナイフの交換を行います。
作業は、2名以上で行ってください。
エンジンは必ず切って行ってください。



警告

刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。



注意

刃(バーナイフ)を含む交換時に必要な部品等は、メーカー純正品をご使用ください。
メーカー純正品以外の使用による故障・事故については保証の対象外となります。

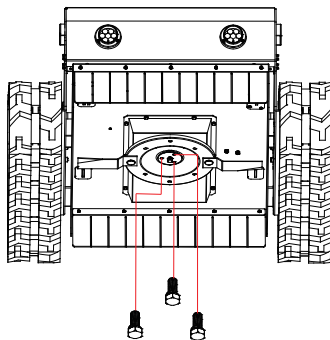
- 使用工具：13mm ラチェットレンチ 1本
14mm ラチェットレンチ 2本
ボルトゆるみ止め接着剤

- 1** 本機を台に乗せます。動かないように必ず固定します。

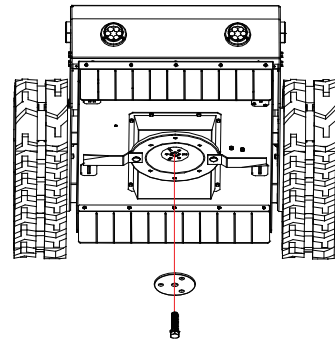


警告

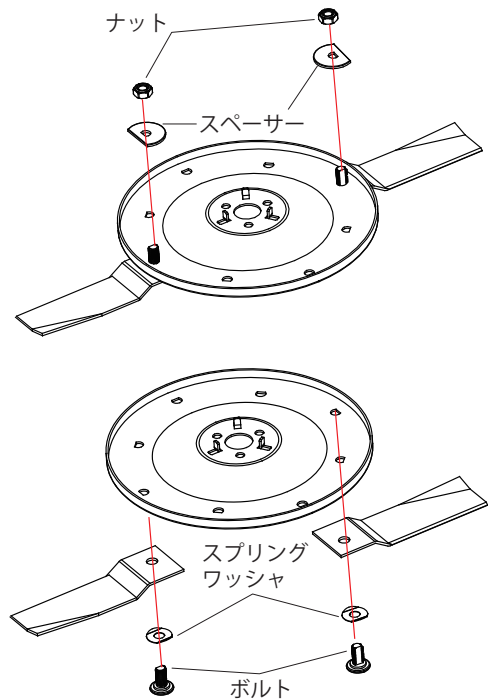
- 2** 回転プレートを固定している3つのボルトを13mmのレンチで取外します。



- 3** 回転プレートの中心のボルトと押さえ板を14mmのレンチで取外します。



- 4** 回転プレートについているバーナイフを取外します。14mmのレンチでボルト、ナット、スペーサー、スプリングワッシャを取外します。



- 5** 新しいバーナイフを交換して、取外しと逆の手順で取り付けます。

ブレード取付時にボルトにゆるみ止め接着剤(243 中強度タイプ)を塗布してから、ボルトを締付けてください。



警告

刃(バーナイフ)の取付けが不十分だと、作業中に外れ飛び出し重大な事故の恐れがあります。取付けは確実に行ってください。

点検・整備の仕方

クローラーの張り調整

クローラーにゆるみがある場合は、ホイール部分の位置調整が必要です。

ボルトをゆるめて、ホイールを動かし、クローラーの張りを調整します。

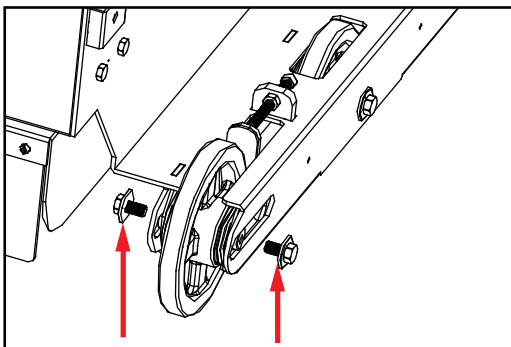


バッテリーやエンジンは必ず停止してから、作業を行ってください。

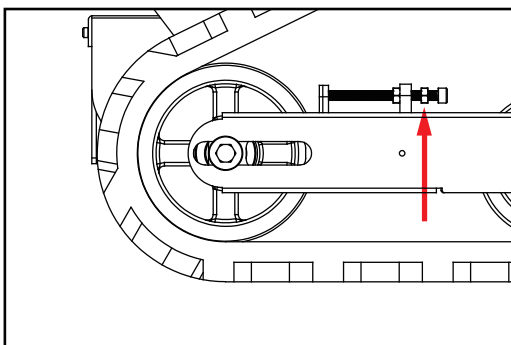
■使用工具: 16mm/14mm プラグレンチ また モンキーレンチ、ワイヤブラシ

●クローラーの張りを緩める場合

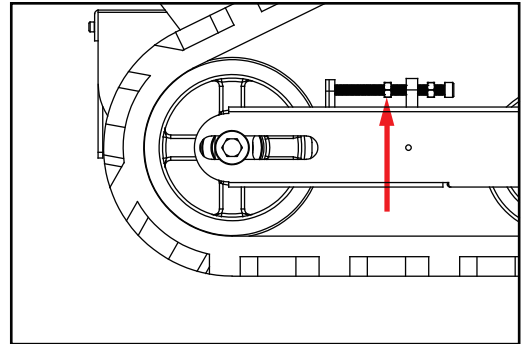
1 フロント側のホイールの2つのボルトを16mmのレンチ等でゆるめます。



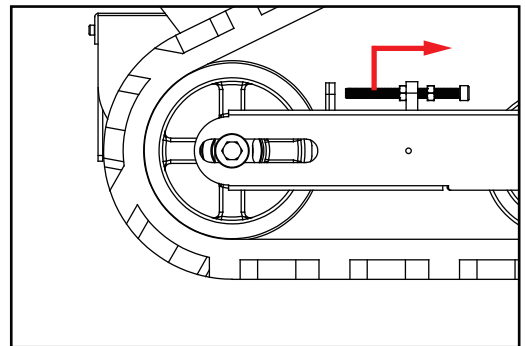
2 ボルトに付いている右側のナットを14mmのレンチでゆるめます。



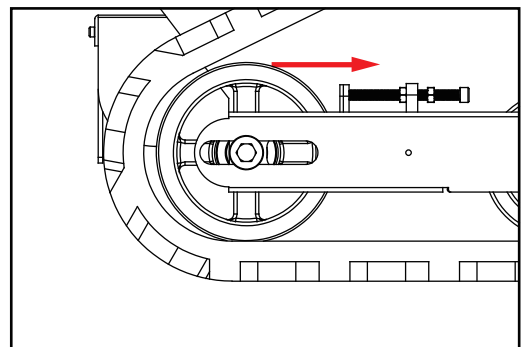
3 ボルトに付いている左側のナットを14mmのレンチでゆるめます。



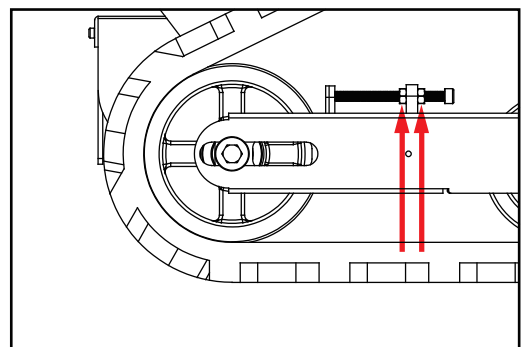
4 調整したい位置までボルトを右側へずらします。



5 調整したい位置までホイールを右側へずらします。

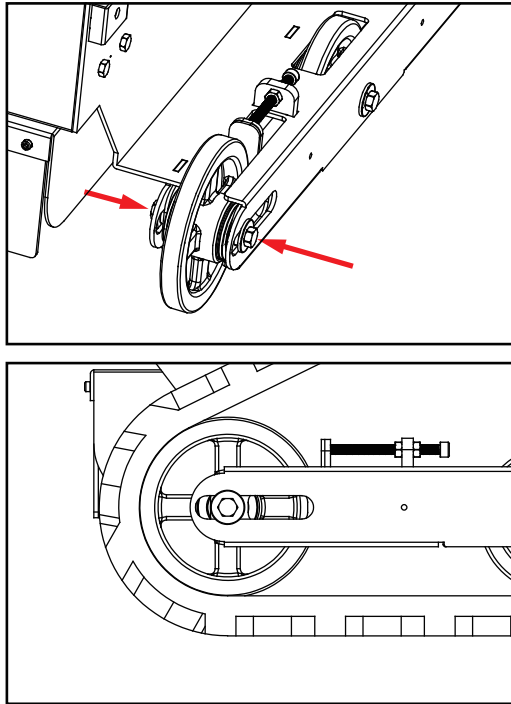


6 左右のナットを閉めます。



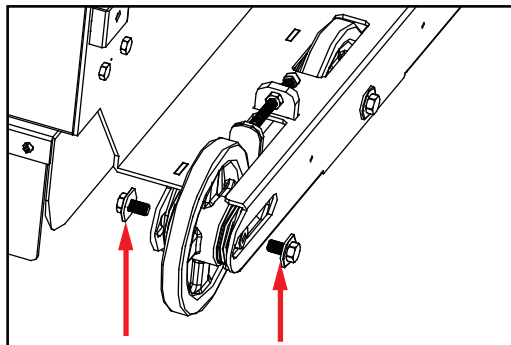
点検・整備の仕方

- 7** フロント側のホイールの2つのボルトを16mmのレンチ等で閉めます。

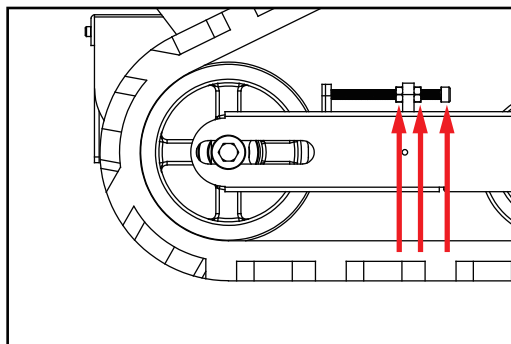


●クローラーの張りを強める場合

- 1** フロント側のホイールの2つのボルトを16mmのレンチ等でゆるめます。



- 2** 右側のボルトを6mmの六角レンチで閉め、左右のナットも閉めます。



- 3** フロント側のホイールの2つのボルトを16mmのレンチ等で閉めます。

バッテリーについて

バッテリー液が適量であっても、エンジンがかからなかったり、セルスターターを回しても弱く感じたら、バッテリーの放電が考えられます。補充電を行ってください。

⚠警告

- バッテリーは、取扱を誤ると重大な事故の原因になります。正しくご使用ください。
- バッテリーを取扱う際は、ショートや火花、火気にご注意ください。
- バッテリーからは可燃性の水素ガスが発生しています。火気を近づけないでください。爆発の恐れがあります。
- 静電気による引火爆発にご注意ください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付かないよう十分ご注意ください。万が一目に入った場合は、多量の清水で洗眼し、速やかに医師にご相談ください。皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流し、石鹸で十分洗ってください。

⚠注意

- バッテリーの電解液を最低液面以下にしないでください。短寿命、発熱や爆発の原因になる場合があります。
- バッテリーの電解液を最高液面以上にしないでください。
- 精製水以外は補充しないでください。
- 補水後は液漏れが起こらないよう、液口栓をしっかり取付けてください。

- 1** バッテリーはシートサポートを開けると奥にあります。
- 2** バッテリーの「-」端子からケーブルを取外します。
- 3** バッテリーの「+」端子からケーブルを取外します。
- 4** バッテリー取付金具を緩め、バッテリーを水平に保ちながらバッテリーを取外します。
- 5** バッテリーは重量物です。落とさないよう慎重に取外します。

点検・整備の仕方

- 6 市販の充電器で、補充電を行ってください。充電の仕方の詳細は、充電器の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

急速充電は行わないでください。急速充電をすると急速に放電します。

- 7 充電が完了したら、バッテリーを取付け、「+」ケーブル端子をバッテリーの「+」端子に取付けます。
- 8 「-」ケーブル端子をバッテリーの-端子に取付けます。
- 9 エンジンを始動し、かかり具合を確認します。

⚠ 注意

補充電をしても性能が回復しない場合は、バッテリーの寿命が考えられます。その場合は交換となります。

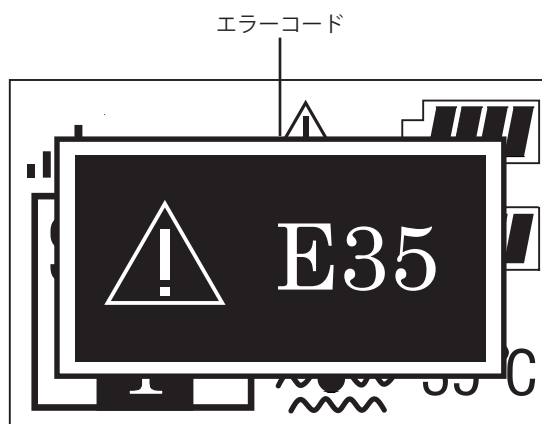
長期間使用しない時

本機を長期に渡り使用しない時は、次のお手入れを行ってください。

- 1 保管する時は、平坦で堅い地面に水平に置きタイヤ止めをしてください。
- 2 燃料タンクの燃料を抜きます。
- 3 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4 各部のよごれを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 5 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 6 防錆、潤滑油を塗布します。
- 7 点火プラグキャップを取外します。
- 8 バッテリーの配線を取外します。
- 9 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。野ざらしにしないでください。

コントローラーのエラー表示の対処方法

使用状況により、操作パネルにエラーコードが表示されることがあります。下記に従い対処をしてください。



エラーコード	原因	対処方法
E11	モーターへの過電流負荷	エンジンと本体の電源を停止し、1～2分程度休止
E12	モーターの不具合	モーターの交換
E13	モーターへの過電流負荷	モーターの交換
E21	モーターへの過電流負荷	エンジンと本体の電源を停止し、1～2分程度休止
E22	モーターの不具合	モーターの交換
E23	モーターへの過電流負荷	モーターの交換
E30	昇降装置の不具合	昇降装置の交換
E31	昇降装置の不具合	昇降装置の交換
E32	アクセルロッドの不具合	アクセルロッドの交換
E33	アクセルロッドの不具合	アクセルロッドの交換
E34	ランプ、リレー装置の不具合	リレーの交換
E35	過電流防止のためモーター停止	エンジンと本体の電源を停止し、1～2分程度休止
E36	本体バッテリー残量の低下	本体バッテリーの充電
E200	通信エラー	基盤交換

その他のエラー表示について

エラー表示	原因	対処方法
	草刈機への通信接続ができていません。	草刈機との通信状態を確認してください。

困ったときの対処法

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.20 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆び又は、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレターの詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
エンジンがかからない	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.30 参照)
	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.30 参照)

●エンジンはかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

症状	原因	対処
エンジンはかかるが止まる、止まりそうになる	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.31 参照)
	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
白煙が出る	オイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.30 参照)
	本体を横倒しにしたためオイルがエンジンに入り込んでいる	エンジンをしばらくかけると白煙がなくなる

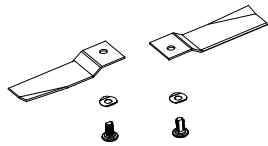

●うまく刈取りができない

症状	原因	対処
芝・草が放出されない	バーナイフ内に詰まっている	詰まりを取除く
	刃に異物や蔓が絡まっている	異物や蔓を取除く
	刃先が極端に摩耗している	新品の刃に交換
芝・草が刈れない	刈高が合っていない	適切な高さに調整
	草が濡れている	草が乾いている時に作業

●過度の振動

症状	原因	対処
本体が振動する	バーナイフのバランスがとれていない	付け直し、解決しない場合はバーナイフの交換
	バーナイフの割れ・曲がり・摩耗など	バーナイフの交換 (P.33 参照)
	刃取付ナットが緩んでいる	ナットを確実に締めなおす

消耗品・部品一覧

商品名	商品コード	
バーナイフ（ワッシャ / ボルト付き）	hg-rcgc501np079	
エアフィルター式	hg-rcgc501np085	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品・部品をご注文の場合は、下記各サイトよりご注文ください。



本店サイト
<https://www.haigeshop.net/>



楽天サイト
<https://www.rakuten.co.jp/haige/>



ヤフーサイト
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/haige/>

※電話や FAX でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
- (11) 機能的影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障品を発送いたします。

ハイガー

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

^{*1} お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。

^{*2} 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。

^{*3} 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



年中無休受付
※年末年始等除く

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、
最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

HAIGE

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



年中無休受付

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

